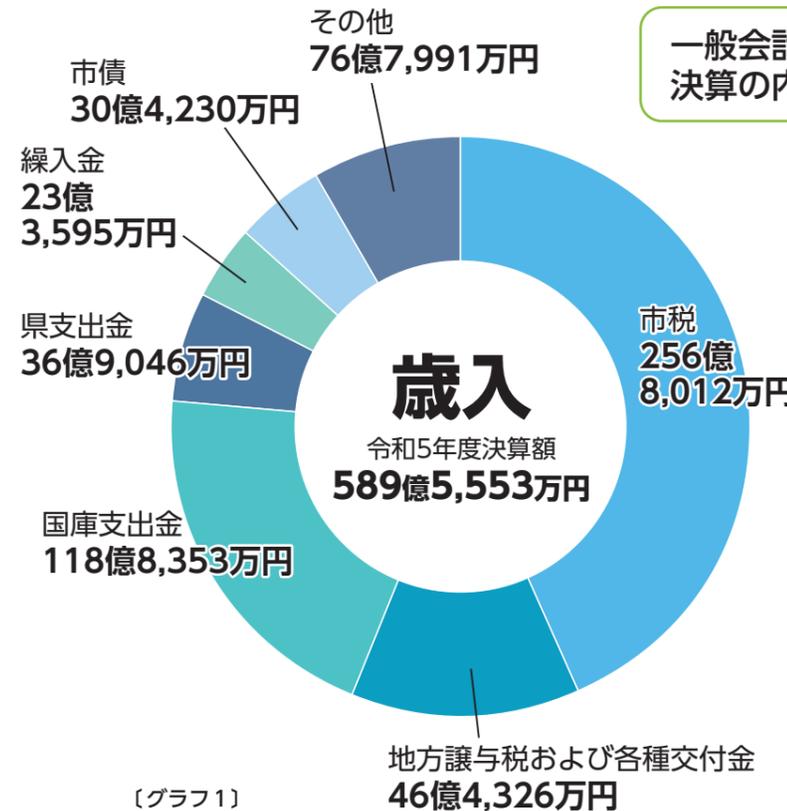


# 財政状況

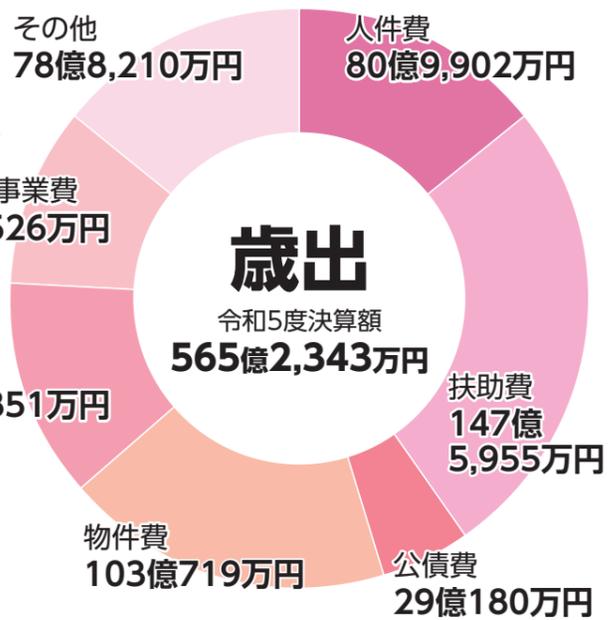
企画財政課 ☎046(235)8453

令和5年度一般会計の決算を中心に、市民の皆さんが納めた税金の使い道をお知らせします。

## 一般会計 決算の内訳

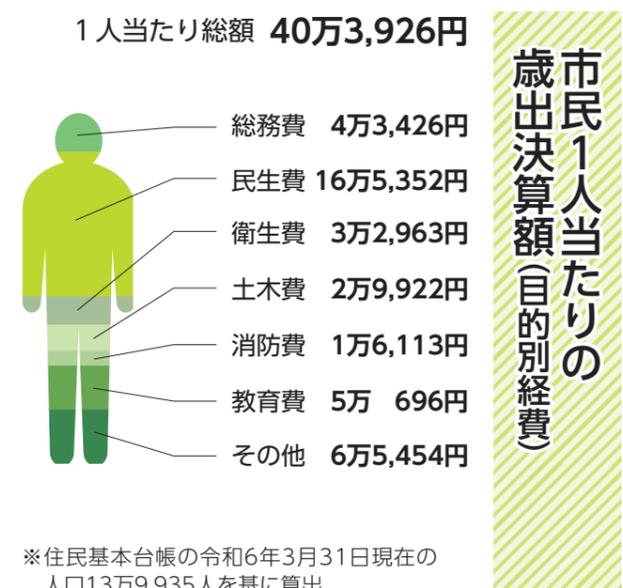


〔グラフ1〕



〔グラフ2〕

**用語説明** ※歳出決算を性質別で分類した「性質別経費」で示します。  
**人件費**…市長や市職員の給与、議員や会計年度任用職員の報酬など  
**扶助費**…障がい者や高齢者への支援、生活保護費など  
**公債費**…市の借金である市債の返済に充てる経費  
**物件費**…消耗品、業務委託料など  
**補助費等**…各種団体への補助金など  
**普通建設事業費**…道路などの整備や建物の建設に関する経費



※住民基本台帳の令和6年3月31日現在の人口13万9,935人を基に算出

## 決算額

収支の管理は、「一般会計」「特別会計」と「企業会計」に分かれています。「一般会計」は基本的な行政運営の経費を賄うもの、「特別会計」は独自の収入があるもの、「企業会計」は地方公営企業法の適用により企業会計方式で事業を運営するものです。

会計名	歳入決算額	歳出決算額
<b>一般会計</b>	<b>589億5,553万4,375円</b>	<b>565億2,343万1,030円</b>
<b>特別会計</b>	239億5,432万9,384円	236億205万9,230円
国民健康保険事業	122億3,365万2,183円	122億588万4,830円
介護保険事業	95億424万4,167円	92億2,267万7,546円
後期高齢者医療事業	22億531万4,434円	21億6,250万2,254円
公共用地先行取得事業	1,111万8,600円	1,099万4,600円
<b>企業会計</b>	39億3,142万310円	41億7,013万8,429円
公共下水道事業	39億3,142万310円	41億7,013万8,429円
<b>合計</b>	<b>868億4,128万4,069円</b>	<b>842億9,562万8,689円</b>

## 一般会計決算の概要

歳入は589億553万円(グラフ1)、歳出は565億2343万円(グラフ2)となり、歳入・歳出ともに前年度を上回りました。

歳入は、納税者数や課税所得の増、海老名駅西口・駅間地区の開発の進展などにより、個人市民税・法人市民税・固定資産税の全ての税目が増加しました。物価高騰対応など国庫負担率の高い事業を実施したことなどから国庫支出金も前年度を上回りました。

歳出は、中新田丸田地区土地区画

## 財政状況は「健全」

自治体の財政状況は、財政健全化法に基づき算定され、国が定める基準を超えた場合、財政の健全化に取り組む必要があると判断されます。

令和5年度の本市の財政状況は、「健全化判断比率」「資金不足比率」のいずれも国が定める「早期健全化基準」「経営健全化基準」を大きく下回り、問題なしと判断されました。

	健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	-(赤字なし)	11.89%
連結実質赤字比率	-(赤字なし)	16.89%
実質公債費比率	5.2%	25.0%
将来負担比率	30.2%	350.0%

公営企業会計名	資金不足比率	経営健全化基準
公共下水道事業会計	-(資金不足なし)	20.0%

整理事業の進捗などにより普通建設事業費が増加しました。プレミアム付商品券発行事業により補助費等も前年度を上回りました。

市民1人当たりの基金・市債の残高は良好です。政令市を除く県内16市の中で基金残高は6万3232円と9番目に多く、市債の残高は企業会計分を含めて28万619円と3番目に少ない金額です。

実質収支は、歳入歳出決算額の差額24億3210万円のうち、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた22億5062万円となりました。